

開催趣旨

「建設技術展2023近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化や、より広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野における建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通じて、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびに建設コンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報も発信しています。さらに、国土交通省が推進するi-Constructionを視野に、「DX・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術も紹介しています。



近畿地方整備局長
坂本 茂範氏

近畿建設協会
谷本 光司 理事長

土木学会 関西支部長
加賀山 泰一氏



来場者数

11/1 [水]
11/2 [木]
延べ **17,165人**

技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
防災	32	37
環境	7	7
コスト削減	3	4
安全・安心	28	43
施工	44	52
維持・更新	54	62
DX・ICT	41	46
団体	10	13
学校	12	12
合計	231	276

開催イベント

関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「来るべき南海トラフ地震に備える
～地震対策の最前線～」

11/1 [水] 10:45-12:15



福和 伸夫氏

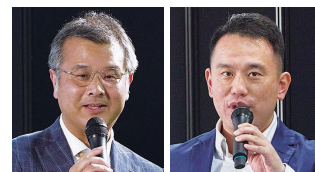
福和伸夫氏(名古屋大学 名誉教授)の基調講演に続き、
 鎌田泰子氏(神戸大学大学院工学研究科 教授)をコーディネーターに鉄道や水道などのライフライン事業者である渡辺佳彦氏(西日本旅客鉄道(株) 山陽新幹線統括本部施設部土木課 担当課長)、
 是國亨氏(NTTインフラネット(株) 西日本事業本部 関西事業部)、中田耕介氏(大阪広域水道企業団 技術長 兼 事業管理部長)がパネルディスカッションを行いました。



土木学会 関西支部FCC× 土木学会 会長特別プロジェクト

「関西の中心で、
土木の魅力をさげぶ」
共催：NPO法人あすの夢土木

11/1 [水] 15:30-17:00



松永 昭吾氏

柿崎 昶氏

土木学会の会長プロジェクトである「土木の魅力向上」について
 松永昭吾氏(魅力ある土木の世界発信小委員会 委員長)と柿崎昶氏(株新庄砕石工業所 取締役管理部長・土木系YouTuber)が講演を行い、澤村康生氏(京都大学工学研究科 都市社会工学専攻 准教授)と意見を交わしました。



学生向けインフラDX技術コンテスト 発表会 [近畿建設協会]

11/1 [水] 13:20-13:50

インフラDX技術コンテストの一次審査の上位3名が作品を発表し、審査を経て最優秀賞と優秀賞を表彰しました。



橋梁模型製作コンテスト

11/1 [水] 10:30-12:30 会場製作部門 会場製作

11/2 [木] 10:00-12:00 会場製作部門・学生部門 載荷試験